



秋田地区営農センター 係長 佐藤 怜太

ノビエ

現在流通している一発剤の多くはノビエ2.5~3葉までの登録となっていますが、効果の安定のためには2葉期までの使用が望まれます。ノビエの発生は代かき後からスタートし、約1週間で1葉のペースで成長していきます。2葉期までに間に合わせるためには、散布は代かきから10日以内となります。

中後期の専用剤では、クリンチャー粒剤は移植後7日からの使用でノビエ4葉期までの登録となっていますが、残効性はありません(散布時に発生しているノビエのみ効果)。ヒエクリーン粒剤は移植後15日からの使用で4葉期の登録であり、殺草までに日数を要しますが2週間ほどの残効があります(散布後の発生抑制)。発生の状況に応じて使い分けてください。

ホタルイ

前年度発生した圃場では、種子または株基部ごと越冬し、次年度の発生源となります。本田での発生はノビエよりやや遅くなりますが、圃場によっては同程度の早さの場合もあります。初期の草体は葉齢の見分けが付きにくいいため、前年に多発した圃場などでは比較的効果の高いプロモブチドが入った一発剤の使用をおすすめします。

●プロモブチドが入った一発剤



アップレZ
規格…1kg粒剤、フロアブル、
ジャンボ、FG



シンズイZ
規格…1kg粒剤、
フロアブル、豆つぶ剤

※写真はどちらも1kg粒剤のパッケージです。

ガス沸き・表層剥離

近年、田植え後の気温が高く推移していることから、ガス沸きや表層剥離の発生が目立つようになってきています。水温、地温が20~30℃になると、微生物の活動が活発化して田んぼにすき込まれたワラなどの有機物が分解し、ガス沸きが起こります。

これらは根の活力低下や生育抑制などの害を与えるため、発生が目立つ場合は速やかに水の交換、田干しや夜間落水を行い、根の生育、分けつ発生を促進する管理を行いましょう。

●表層剥離の被害が大きい圃場



生産資材・農産物の盗難などに注意!

肥料・農薬や収穫した農産物などの盗難・悪用・流失を防ぐため、施錠できる屋内で適切に保管しましょう